

プランクトン調査結果のお知らせ

各 位

本日、野見湾においてプランクトン調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせ致します。

検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリム属が最高で2.20 cells/mL確認されました。アレキサンドリム属には平成29年に養殖魚の被害原因となった種類であるアレキサンドリム・レーイが含まれていましたので、増殖した場合には注意してください。

表 プランクトンの検鏡結果 (cells/mL)

調査地点	水深	アレキサンドリム属	クロロディニウム・ポリクリコイデス
湾奥ブイ	1-10m	2.20	0
馬の背	1-10m	0.10	0

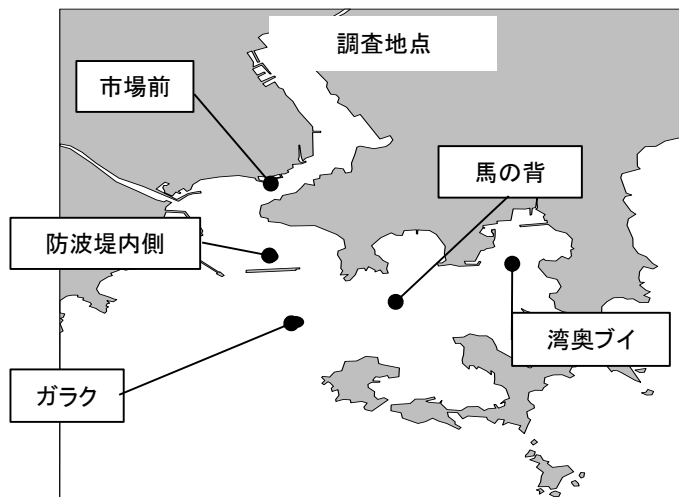


図 調査定点

漁業被害が想定される細胞密度

- ・アレキサンドリム属：
500～cells/mL (貝の毒化)
- ・クロロディニウム・ポリクリコイデス：
数百～1,000cells/mL (魚類のへい死)